

株式会社 ベジランド佐藤



1 現在の経営内容等

(1) 経営理念、キヤッチフレーズ等

- とにかく美味しいものを作る
「感動」する美味しさ、「食べることの楽しさ」を提供
- 信頼関係の構築
消費者、社会、従業員間の信頼関係を築くため、情報公開の徹底と安全安心を追求
- 「儲かる農業」を多くの人と地域に普及させる
産地の拡大、地域の活性化、自らと消費者の幸せを追求

(2) 栽培技術の特長

土耕栽培にこだわり、堆肥や有機肥料を用いた土作り、生育段階や生育状況、天候に応じた灌水管理を実施している。トマトは糖度6以上の良食味と果形にこだわり、マルハナバチの導入や、化学農薬を極力使わない栽培に取り組んでいる。

(3) 販売の特長

長年、みやぎ生協を中心に販売を行っている。美味しさを追求した野菜を生産してきたことから、消費者からも高い評価を得ている。

(4) 経営組織の特長

家族経営を発展させ設立した一戸一法人である。

(5) 労務管理の特長

従業員も部門の担当者として責任を持たせ、自ら担当部門を仕切り、新たな提案や改善ができる人材の育成を行っている。

(6) 経営管理の特長

生産・販売計画、収支・資金繰り計画の作成と実績管理を実践し、経営状況の把握と発展に向けた検討を行っている。

(7) その他の特長

(地域との連携、環境への配慮、情報収集・発信等)

構成員の1名が農家レストランを主宰しており、当社の野菜を用いた料理を提供し、野菜の美味しさや、食べ方についての情報を発信している。

みやぎ生協と連携のもと収穫体験等の消費者との交流に積極的に取り組んでいる。

2 これまでの経過

(1) 法人化するまでの特徴的な歩み

個人経営として野菜の生産、販売を行ってきた。みやぎ生協と40年にわたる取引を行い、美味しさを追求した野菜の生産や、都市近郊の強みを活かした店舗への迅速な供給により高い評価を得てきた。後継者への世代交代を契機に、経営の拡大、発展を目指して法人化することを決意した。

経営のプロフィール

経営概要

- トマト (11,142m², 57t)
- 中玉トマト (5370m², 32t)
- 葉菜類 (小松菜、チンゲンサイ、ほうれんそう等) (8,000m², 21t)
- その他野菜 (きゅうり、ブロッコリー等)

主な施設・機械の保有

- 鉄骨ハウス5棟 (8,836m²)
- パイプハウス13棟 (2,500m²)

構成員等

構成員4名、パート10名

法人設立年月日

平成26年5月12日

認定農業者認定年月日

平成26年5月31日

資本金

500万円

販売額

4,491万円 (平成25年度)

役員名

代表取締役：佐藤 純
専務取締役：佐藤 三千仁
取締役会長：佐藤 昭幸
取締役相談役：佐藤 郁子

主な過去の導入事業及び農業制度資金活用

大規模園芸経営体育成事業

略図



株式会社 ベジランド佐藤

〒981-1106 仙台市太白区柳生6-13-1
TEL 022-241-0361 (FAX兼用)
E-mail sato_no831@yahoo.co.jp

視察受入条件

普及センターにご相談ください。